



日本家族看護学会 第26回学術集会

The 26th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

●会期 2019年 9月14日(土)・15日(日) ●会場 京都テルサ

●学術集会長 河原 宣子 京都橘大学 看護学部

書：尾西 正成

(京都橘大学 文学部 日本語日本文学科 書道コース)

テーマ：「心をつなぐ」

「つなぐ」という言葉には、「受け継ぐ」「バトンをつなぐ (Carry the torch)」「いっしょに歩む」「手をつなぐ」といった家族看護実践の醍醐味と家族看護学のさらなる発展を期待する意味を込めています。これまでに蓄積された家族看護学に関する多様な知見を次代につなぐ、人と人、家族と地域社会をつなぐ、看護職を始め多くの職種が手をつなぎ家族と関わる、そして、多様な学問分野とのつながりを築く、といった内容を盛り込み、議論を深めたいと思います。

● 演題募集期間

2019年2月1日(金) 9:00

▶ 5月17日(金) 17:00

● 事前参加登録期間

2019年2月1日(金) ▶ 7月31日(水)

主なプログラム 学術集会情報は、随時ホームページ(<http://jarfn26.umin.jp/>)上でご案内いたします。



特別講演 I

看護のレジェンド・ウーマンたち

京都橘大学文学部長 松浦 京子 教授(西洋史)

プライマリケアの先駆、19世紀イギリスにおける訪問看護の世界を探訪しましょう!

特別講演 II

障害を価値へと変えた日 ―未来はいつでもこの手の中に―

一般社団法人HI FIVE(ハイファイブ)代表理事 畠山 織恵・畠山 亮夏

家族のチカラ!のドキュメンタリー。親子出演です。

教育講演

防災がつなぐ 家庭―地域―教育―行政

三重大学大学院工学研究科 川口 淳 准教授(地域防災学)

防災の原動力は家族と次代を担う子どもたち。豊富な現場での取り組みを学びます。

シンポジウム I

事例研究

コーディネーター：山本 則子 教授(東京大学大学院医学系研究科)

現場発! 家族看護学の実践知。

シンポジウム II

26th-27th-28th 学術集会がつながる―リレーシンポジウム

シンポジスト：浅野 みどり 教授(名古屋大学大学院医学系研究科) 他

2019年から始まる3つの学術集会で、家族看護モデルの検証という切り口から、家族看護研究における知の創造をめざします。

● 学生や卒業生(新卒)の学会発表

学生や新卒の卒業生が、卒業研究や実習での家族看護事例のまとめ(いずれも指導教員の承諾が必須)などを発表・ディスカッションできるコーナーを設けます。正式な学会発表として抄録集への掲載はありませんが、家族看護に興味をもつきっかけになればと考えております。ぜひ、ゼミ生や卒業生にお声かけをお願いします!!

「★One Coin 心会：500円でハッピーアワー懇親会」を企画しております。事前登録は必要ございません。当日、交流の場としてお気軽にご参加ください!

問い合わせ先

京都橘大学看護学部 野島敬祐

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

TEL: 075-574-4254 E-mail: jarfn26@tachibana-u.ac.jp

<http://jarfn26.umin.jp/>